

5月の連休も終わり、東京日比谷でのイベントも終わり、苗も順調に生育したことから、5月16、17日に田植えを行いました。連休前の4月28、29日に鶏糞、牛糞、米糠等の有機肥料と恒例のミネラル土壌改肥料のマインマグCをトラクターで圃場全体に播き、引き続いて耕耘を行いました。

昔から稲作りの百姓間で言われている言葉に「苗半作く」ということわざがあるように、元気でムラのない苗を作ることが秋の収穫まで影響することから、当農園ではマインマグCの微粒剤と植物の生育を促進させるHB-101を苗の生育にあわせ数回散布した結果、今年も立派な苗を植えることができました。

有機肥料とミネラル土壌改肥料のマインマグCをトラクターで播く



HB-101とマインマグC

を使用し 15cm 程に育った苗箱のコシヒカリ苗



今年も42株植の疎植田植えを行いました。



孫も参加して、農園スタッフ全員での田植えの状況

田植えの終わった圃場では、水の張られた圃場でカエルの賑やかな合奏が始まりましたが、近年周囲の圃場の様子が変わってきました。10年程前までは、1～2週間程の遅れが見られましたが、5月末までにはどの圃場でも田植えが終了し、全ての圃場からカエルの合奏が聞こえてきましたが、今では半数ほどの圃場ではまだ肥料播きや耕耘が終わっていません。

今話題のドローン等で上空から写真を撮れば、まだら模様のアート写真が撮れるのではと思っています。

全ての圃場で田植えが終了するのは、6月20日ころになるのでは???・・・このように農村では色々な問題を抱えながら、米作りに取り組んでいるのが現状です。次号から近隣の農村の状況、問題点、気づいた点等について、述べて見たいと思っています。



H27みどりとふれあうフェスティバルの状況

5月9・10日の日比谷イベントには多数の方々からご来店いただきありがとうございました。お陰様で盛会時に終了することができましたことに感謝申し上げます。

発行者：〒944-0023 新潟県妙高市西条755

妙高西条農園長 池田博子

☎ 0255-72-3497 fax 0255-72-2908

Eメール：iked@kanta.jp

ホームページ URL：http://www.kanta.jp